

広報

しんじょう

3

2012

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.651

ホームページ <http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

メール info@city.shinjo.yamagata.jp

ホームページ検索

検索



特集

「新庄市まちづくり総合計画」 雇用・交流拡大プロジェクト

平成23年度施策評価を実施しました
子ども芸術学校24年度生募集

頑張ろう
東北。

新庄市は、東日本大震災の
復興を支援します。

▲「第41回新庄雪まつり」で巨大提灯を打ち上げ(2月11日/歴史センター脇広場)

特集

新庄市まちづくり総合計画・重点プロジェクト

雇用・交流拡大プロジェクト

今年度は、新庄市まちづくり総合計画（第四次新庄市振興計画）の重点プロジェクトについて三回に分けて紹介しています。

最後となる今回は「雇用・交流拡大プロジェクト」を取り上げます。

暮らしを守り、住みよさが実感できるまちを創っていくには、定住の基本となる「働く場」の確保と交流の拡大による活力あるまちづくりが求められます。そのための具体的な取り組みを紹介します。

雇用 Project① 創出に向けて

雇用の創出

新庄市まちづくり総合計画第四次新庄市振興計画は、平成三十二年度までのまちづくりの基本的な指針となるものです。「暮らし、定住、未来創造」の観点から、「雇用・交流の拡大」「安全・安心の充実」「子育て・人づくり」

の三つの重点プロジェクトを設定し、選択と集中により、重点的に取り組んでいます。

毎年実施している市民アンケートにおいては、「魅力ある雇用の場の確保」「企業誘致」が必要度の高い施策に挙げられますが、これは重要度の高さに対して市民の満足度が低いことを表しています。

暮らしを守り、住みよさが実感できるまちを創っていくには、定住の基本となる「働く場」の確保が最重要課題となっています。そこで市では、雇用拡大と新しい産業の創出に重点的に取り組んでいます。

ここでは、その取り組みについて紹介します。

企業誘致の対策強化

企業誘致については、中小企業基盤整備機構、県、商工会議所、最上8市町村などで構成する協議会と一体になって推進しています。現在、新庄中核工業団地には45社、新庄横根山工業団地には9社が操業、2,200人が働いていて、地域の雇用を支えています。新庄中核工業団地には、14区画23.3ヘクタールの未分譲地があり、この用地への誘致を促進することで、雇用拡大をはじめ地域経済の活性化を目指しています。

また、昨年春から財団法人地方自治研究機構との共同により、市の地域特性を活かした戦略的な企業誘致について調査・研究を行っています。

今後は、宮城県で世界的な自動車メーカーが操業したことを受け、自動車関連企業の誘致や内発型の食品加工産業の立地などを推進する計画です。また誘致対象業種は製造業に限らず、IT関連の企業や研究機関も含めた誘致を推進していきます。

市では、中核工業団地に立地した製造業などの企業に対して、「用地取得助成金」の交付や税の減免により支援を図っています。

▲市内立地企業では多くの市民が働いています。

雇用・交流拡大プロジェクト

地場産業の振興

企業誘致に加えて地元企業の競争力の向上も重要です。市内には高い技術を持つ地元企業も多くあります。地域に根ざすものづくり産業の振興を図るため、企業情報の発信や販路拡大支援などを通じて、新たな受注機会の創出に向けた取り組みを推進しています。

人材の育成

地域経済の活性化には、地域内での人材育成が欠かせません。企業側は高い技能を持つ人材の確保が課題になっています。今後、経済の国際化がますます進展する中で、国内外での企業間競争も一層激化していくものと思われます。地域経済にとっても、いかに人材を確保、定着させていくかが鍵になると考えられます。

平成24年度より、市では「工業振興人材確保推進事業」に取り組む予定です。この事業は理工系大学進学者への「奨学金制度」を創設するもので、地元出身者の人材育成を通じて、市内製造業への人材定着と事業所の競争力強化、担い手確保を推進したいと考えています。

新たな産業の創出に向けた取り組み

国内外の経済情勢は大きく変化しています。従来の枠を超えた分野との連携によって、新たな産業の創出を図ることが求められています。

農商工連携をはじめ、高等教育機関などの研究機関との連携を通じて新しい産業を生み出すことを目指し、このような取り組みに対する支援策の構築を図ります。

雇用対策の取り組み

平成21年度から、県の基金を活用した「緊急雇用創出事業臨時特例基金事業」、「ふるさと雇用再生特別基金事業」に取り組み、3カ年で298人の雇用を創出してきました。

県、最上8市町村、商工会議所、商工会で最上地域雇用創造推進協議会を組織し、国の委託事業となる地域雇用創造推進事業に取り組んでいます。この事業は、人材育成セミナーや、就業促進事業を通じて雇用創出を図るもので、最上地域全体では300人以上の雇用創出につながっています。



▲人材育成セミナーの組み込みソフト開発技術者育成研修の様子。組み立てたロボットを動かすプログラムを作成している。

◎ 商工観光課企業立地推進室 ☎ 内
線 254、または商工振興室 ☎ 内
線 253

雇用・産業の創出には、企業への支援策のように短期的に取り組むべき施策と人材育成のように長期的な視点に立った施策の両方をあわせて推進していく必要があります。そのため市では、関係部署が連携し、産業・医療・保健・福祉・教育・都市基盤整備・環境など、あらゆる分野で取り組んでいます。

元気な企業を紹介します!

新庄自動車株式会社 代表取締役 佐藤 啓



▲佐藤社長の名から、HIRAKU式と命名したフルトレラ。(2011年11月東京トラックショーにて／東京ビッグサイト)

開発、実用化したものです。

トラックでトレーラを牽引するフルトレラは、二倍の積み荷を運べますが、バック運転が難しかったため国内では普及していませんでした。この欠点を克服しようと、トレーラの前輪を運転席から自在に操舵し、狭い場所でもバック運転が簡単に行えるシステムを、当社が開発、実用化したものです。

軽くて丈夫なスウェーデン鋼を使ったトラック車体や、林業用ローダークレインを搭載したトラックの製造販売が現在の主な業務で、林業者を中心に全国に納入しています。画期的な「HIRAKU式フルトレラ」の開発により、平成二十年度全国発明表彰を受賞しました。

自動車修理業として昭和二十九年に創業。原木輸送に適した車両を求めて、車両の修理や改良を手がけ、平成十七年には中核工業団地へ進出し現在に至ります。

軽くて丈夫なスウェーデン鋼を使ったトラック車体や、林業用ローダークレインを搭載したトラックの製造販売が現在の主な業務で、林業者を中心に全国に納入しています。画期的な「HIRAKU式フルトレラ」の開発により、平成二十年度全国発明表彰を受賞しました。



交 流

Project②

拡大に向けて

■観光振興の課題

市の観光客数は、山形新幹線の新庄延伸を機に増加しましたが、その後は横ばいです。観光の目玉である新庄まつりが国の重要無形民俗文化財に指定されたことや、「味覚まつり」「そばまつり」の実施による市内外への食文化の発信など観光への期待が大きいものの、通年での観光を目指すにはさらなる充実が必要です。恵まれた自然環境や豊かな食文化など、観光資源も数多くあり、それらをどのように活かしていくかが重要な課題です。

■交流人口の拡大

観光産業の確立にあたっては、交流人口をいかに増加させるかが最大の課題となります。近年インターネットの普及に

より情報収集が簡単に行われる時代となり、適時的確な情報発信が重要性を増しています。その分、他地域との競争は激化し、いかに他より魅力的なメニューを旅行者に提供できるかが、観光振興に向けた鍵となっています。市単独での魅力強化はもちろんのこと、周辺地域との連携から生み出される交流人口の増加も期待されます。

また、今後は国内だけでなく、外国人旅行者の誘致が大きな課題となります。東日本大震災後激減していた訪日旅客数が戻りつつある現状にあつて、いかに外国との交流を進め観光客を誘致するかは、安定した観光産業の確立のためにも重要です。

■外国人旅行者誘致に向けて

市ではさらなる交流人口の拡大に向け、今年度からインバウンド（訪日外国人旅行者）の誘致に着手しました。山形県を訪れている外国人旅行者の七割以上が台湾人であることから、誘客のターゲットを台湾に絞りキャンペーンを開始しました。

台湾人には親日家が多く、日本への旅行が二回目以上というリピーターが半数以上を占めてい

インバウンド誘致に向けた受け入れ環境の整備

新庄インバウンド誘致キャンペーンの台湾訪問団に私も参加させていただきました。台湾を訪問し、販売に携わる私の目線で最も印象に残った事は、外国人旅行者に対する『受け入れ態勢』についてでした。

訪れた台湾の販売店は、日本人の多い店で、日本語表記や買いやすいラインナップなど、安心感や購買力につながる対応ができていました。受け入れ態勢が整っていると強く感じました。これまで私の店では、外国人のお客様が来店されても、接客も表記も常時と何ら変えていませんでした。言葉も分からないまま、不安を抱えてお買物をしていらしたのかと思います。

観光にお土産は付きものです。楽しい思い出と共に、再度ご来店いただくためにも、早急に受け入れ態勢を整えていく必要があると思います。そのために、インバウンド誘致事業に参加し意識を高めています。



株式会社もがみ物産協会
もがみ物産館 店長
鈴木 多恵子さん

雇用・交流拡大プロジェクト

また、同じ十一月には市長を団長とした訪問団が台湾を訪れ、アジア地区最大の旅行の祭典「第十九回台北国際旅行博」に参加しました。会場では特設ステージでのピーアールの時間も設けられ、新庄まつりの映像を流し、囃子の演奏を行うなど観光地としての新庄を売り込みました。さらに、

の記載はありませんでした。そこで、新庄まつりに合わせ台湾の旅行業者・旅行雑誌記者など三人を招き、湯沢市・大崎市との広域連携による観光プロモーションを行いました。まつりを体験した三人は、「台湾にはこのようなまつりはない。素晴らしさを台湾でも伝えたい」と話しました。その結果、十一月に台湾の旅行雑誌に新庄まつりや最上川舟下りなどが特集記事で紹介されました。



◀新庄まつりが掲載された台湾の旅行雑誌「TRAVELER Luxe」

る反面、台湾国内では山形県とりわけ新庄・最上地域の認知度は低く、東北地方を紹介したガイドブックにも最上地方

現地の観光エージェントと新庄・最上の魅力を今後台湾でどう伝えていくかなどについて意見交換を行いました。

第19回台北国際旅行博の概要

開催日程	2011年11月 11～14日
会場	台北国際貿易センター
出展数	61カ国 1,500ブース
総来場者数	214,467人 (前年比17.14%増)



▲旅行博会場に設けられたステージで新庄まつりなどをPR。

チャーター便の利用者数

就航日(利用空港)	利用者数
1月20日(庄内)	97人
1月21日(山形)	139人
1月25日(山形)	147人
1月28日(庄内)	117人
2月 9日(庄内)	146人
計	646人

さらに、インバウンド誘致のためには受け入れ態勢の充実も重要になってきます。一月には、台湾からのチャーター便が初めて山形県を訪れています。

今後のインバウンド誘致

市としてインバウンド誘致に取り組み始めましたが、予想以上に山形県の認知度が低いことがわかりました。二十四年度には、今年度誘客ターゲットとした台湾人観光客に向け、旅行プランやツアー内容の提示といった具体的なアプローチが必要となります。

新庄・最上は、インバウンド誘致に最適

「新庄まつりは、絶対台湾人に受けますよ！」弊社の台湾人スタッフで、昨年私に同行して四回も新庄へ出張した蔡國鈞は、いつも自分にそう話す。また、先月山形県からの招きで県内を視察した弊社上海事務所の人スタツフ任安も「四日間県内を視察した中で、一番魅力的だったのは最上川舟下りです！」と言って帰国した。

地元にいると普通を感じる事も、外国人にとっては新鮮に映る事がたくさんある。新庄・最上は、国内観光では地味な存在かも知れないが、インバウンドにおいては、限らない可能性に満ち溢れている。

少子高齢化で人口減少が加速する地方において、国際観光は避けて通れない。昨年来、山尾市長をはじめ、多くの関係者がインバウンドに真剣に取り組み始め、訪日旅客誘客のマーケティングに携わる私も地元新庄に貢献できればと、お手伝いしている。



新庄藩江戸家老
新庄インバウンド アドバイザー
(インフィニティ・コミュニケーションズ株式会社)
斎藤 枢寛さん

近い将来、インバウンドが新庄最上の景気と雇用に大きく貢献する日が必ず来る。

最上地方・新庄市を訪れた外国人観光客に快適な時間を過ごしてもらうためには、ホテルや旅館・飲食店・お土産品店などと連携し、外国語表記による看板やパンフレット、メニューなどの作成を進める必要があります。

また、山形県を最も多く訪れているのは台湾人旅行者ですが、訪日旅客数が十二年連続一位である韓国も、注目すべきインバウンドの対象です。訪日韓国人は、宿泊場所も飛行機も個人で手配する個人旅行者が半数以上を占めています。日本への興味も大きく、日本の食事や温泉、自然の景観などを好むので、最上地域に呼び込むチャンスは大いにあります。

国内の観光需要が減少し、インバウンドが非常に大きな誘客市場となっている中、東北・山形県を訪れる外国人観光客のニーズをより正確に把握し、当地域の魅力を継続してアピールしていかねばなりません。また、訪れた観光客をいかに満足させるかという、私たち受け入れ側の準備も必要です。

これらの課題を解決しながら、インバウンド誘致による観光、そして産業全体の活性化を図っていきます。

◎商工観光課観光交流室内線 ☎251

を実施しました

より効果的な評価とするため
ご意見やご感想をお寄せください。

◎総合政策課企画政策室 ☎内線236

主な評価内容

①目標指標

施策に掲げている目標指標の現況数値を把握し、達成状況を分析します。

②事務事業の適当性、優先度、予算配分の方向性

実施している事務事業が、施策目標実現のために適当かどうかを評価します。

また、施策の目標達成に対する貢献度や他の事業と比べた優先度を検討し、予算配分の方向性を示します。

③施策の課題、今後の取り組みや改善策

施策の成果をさらに向上させるために必要な取り組みや課題解決のための改善策を検討します。

表記内容は次の通りです。

施策名

●目標指標(※の指標は市民アンケートの結果数値)
A⇒B(C)

A=基準値(平成21年または直近で把握した数値)

B=平成22年の実績値(市民アンケートは平成23年結果数値)

C=平成32年目標値

(目標指標) 結果を紹介します。

プロジェクト

克雪対策の推進

- 流雪溝利用組合数
17組合⇒18組合(30組合)
- 除雪・排雪体制が充実していると答えた割合※ 24.4%⇒29.9%(35%)
- 流雪溝の整備が充実していると答えた割合※ 16.0%⇒18.8%(26%)

良好な水環境の保全

- 生活排水処理施設普及率
65.0%⇒66.4%(80%)

機能的交通体系の確立

- バス路線数
8路線⇒8路線(8路線)

子育て・人づくりプロジェクト

子どもの保育・教育環境の充実

- 子育てしながら働くことができると答えた割合※ 18.8%⇒25.5%(30%)
- 学童保育が充実していると答えた割合※ 16.3%⇒29.5%(30%)
- 子どもの遊び場が充実していると答えた割合※ 14.0%⇒17.2%(30%)

家庭における子育てへの支援

- 子育ての相談・支援体制が充実していると答えた割合※ 16.8%⇒18.8%(25%)

子どもの発達支援

- 乳幼児健診受診率(3歳児)
98.5%⇒97.4%(100%)

生きる力と夢を育む学校教育の推進

- 学校教育が充実していると答えた割合※ 34.9%⇒34.1%(50%)

地域に根ざした学校教育の充実

- 子どもの教育について、学校、家庭、地域の連携がとれていると答えた割合※ 32.8%⇒38.2%(50%)

活力みなぎる地域活動の推進

- 市民活動に対する支援が充実していると答えた割合※ 9.4%⇒16.6%(20%)

自然環境保全への取組と市民意識のかん養

- 自然学習や環境教育が充実していると答えた割合※ 19.8%⇒21.4%(30%)

雇用・交流拡大プロジェクト



■将来像の実現に向けて

これまで三回にわたり、まちづくり総合計画の重点プロジェクトについて紹介してきました。今回紹介した「雇用・交流拡大プロジェクト」では、ほかにも「エコロジーガーデンの利活用」や「農業従事者の確保」などの取り組みを行っています。

「子育て・人づくりプロジェクト」では、「妊婦健診の充実」や「読書教育の推進」、「小中一貫教育の推進」などにも取り組んでいます。「安全・安心充実プロジェクト」では、「各種検診の受診率向上対策の強化」や「予防接種の充実」、「自主防災組織への支援」、「生活排水処理施設の整備促進」などにも取り組んでいます。

「暮らし・定住」に向けた本市の重要課題に対応していくには、限られた経営資源の中で選択と集中により効果的に施策展開していく必要があります。市の将来像「自然と共生 暮らしに活力 心豊かに笑顔輝くまち 新庄」を実現していくため、今後も三つのプロジェクトを中心に重点的、総合的に取り組んでいきます。

平成23年度 施策評価

施策評価の目的

施策は、まちづくりの基本的な方向性を具体的にわかりやすく示したものです。施策ごとに基本方針や目標指標を掲げており、その達成度合いを評価・分析することで、まちづくりの進捗状況や課題の把握に役立ちます。また、この結果を踏まえ、課題に応じた改善策の検討や、限られた行政資源の選択と集中を図ることにしています。評価の対象となるのは、新庄市まちづくり総合計画に定めた45の施策です。

施策評価の方法

施策の担当課が第1次評価を行い、行政評価推進委員会による第2次評価を行います。

施策評価の公表

施策評価の結果は市のホームページや総合政策課でご覧いただけます。

まちづくり総合計画重点プロジェクトに関連する一部の施策の評価

雇用・交流拡大プロジェクト

農業者の育成・確保

- 市振興作物である園芸作物の販売額
7.1億円⇒8.2億円(8億円)
- 産直・加工販売団体数
23団体⇒24団体(50団体)

意欲ある農業者の育成・確保

- 基幹的農業従事者数
1,588人⇒1,688人(1,500人)
- 認定農業者数
290人⇒290人(330人)

商工業の振興

- 製造品出荷額
618億円⇒460億円(700億円)

企業の誘致と支援

- 工業団地における操業企業数
53社⇒52社(67社)
- 市内事業所数
1,206社⇒1,157社(1,300社)

地域資源の磨き出しと活用

- 新庄まつり観客数
46万人⇒46万人(100万人)
- 年間観光客数(イベント除く)
87万人⇒82万人(120万人)

交流の促進

- 他地域との連携の取組数
10件⇒11件(20件)

安全・安心充実

健康づくりの推進

- 特定健診受診率
31.9%⇒32.5%(65%)

高齢者をともに支えていくシステムづくり

- 在宅介護サービスが充実していると答えた割合※ 21.1%⇒27.6%(30%)

防災体制の充実強化

- 自主防災組織の組織率
13.7%⇒18.4%(72.7%)

多様なニーズに応える生涯スポーツの振興

- スポーツ活動が盛んであると答えた割合※ 35.4%⇒29.0%(50%)

創り 奏で 表現しよう **子 ど も 芸 術 学 校**

感情を豊かに表現する楽しさを体験し、芸術・文化に親しむ子どもを育てようと開校した新庄市子ども芸術学校。各部門の4年目の発表の様子などを紹介し、来年度の募集についてお知らせします。



音楽部門
新庄吹奏楽団
ジュニア部
 さまざまな場所で演奏を披露。
 写真は「一歩²フェスタ2011」
 での演奏の様子。
 (12月3日／ゆめりあ)

演劇部門
キッズ
シアターS
 キッズシアターS第4回公演で「秘
 密の花園」を上演し、集まった入場
 料を東日本大震災義援金として寄
 付。(2月5日／市民文化会館)



表現部門
ちゃれんこ
 第10回ちゃれんこ公演でダ
 ンスや創作劇を披露。
 (2月26日／市民文化会館)



造形部門
パレット
 パレット作品展「ぼくらの銀河
 鉄道」(12月3日～17日／市
 民プラザで開催)

「新庄市子ども芸術学校」24年度生募集!

【音楽部門】新庄吹奏楽団ジュニア部

- ◆対象：小学3年生～中学生(30人程度)
- ◆活動日：月2回、土または日曜日
- ◆内容：吹奏楽の楽しさを知り、練習して
演奏会に参加します。

【演劇部門】キッズシアターS

- ◆対象：小学4年生～中学生(15人程度)
- ◆活動日：月2回、土曜日午後
- ◆内容：演劇の作り方を知り、大勢での
舞台づくりに取り組みます。

【表現活動部門】ちゃれんこ

- ◆対象：小学4年生～中学生(20人程度)
- ◆活動日：月2回、日曜日午後
- ◆内容：ダンスやリズム遊びをして、友達を
たくさんつくり、発表会をします。

【造形部門】パレット

- ◆対象：小学3～5年生(10人)
- ◆活動日：月2回、土曜日午前
- ◆内容：いろいろな方法で絵をかいたり、
みんなで作品をつくります。

○活動場所 市民文化会館・市民プラザ・わくわく新庄・雪の里情報館など

○受講料 年間3,000円～月1,000円(部門によって異なり、材料代の実費負担のある場合があります)

○申し込み 3月30日(金)まで(定員に満たない場合は随時受け付けます)

◎詳しくは、生涯学習課へ。 ☎内線462

しんじょうの郷土料理

しんこ餅

今は新庄でも3月3日に合わせてひな人形を飾る家が多くなりましたが、昔はひな祭りと言えば雪の消える4月に飾るのが一般的でした。

そして、飾ったおひな様の前にたくさんのお菓子や料理が供えられ、近所の家々の子どもたちが「おひな様見」にきました。新庄のひな祭りのお菓子といえば「くじら餅」。そのくじら餅と一緒に並べられたのが、真ん中を少し高くして食紅で色をつけた「しんこ餅」でした。



【材料／30～40個分】

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| ☐ もち米…1升 | ☐ こしあん…750g |
| ☐ 打ち水…1合 | ☐ 砂糖…400～500g |
| ☐ 片栗粉…適宜 | ☐ 塩…少々 |
| ☐ 食紅…少々 | |

【作り方】

- ①もち米はといで一晩水につけてざるにあげ、水をきっておく。
- ②蒸し器に①の米を入れふきんを中央部を少し低めに広げ、強火で蒸す。
- ③蒸気が上に抜けたら打ち水をし、米にまんべんなくかけ、へらで上下をよく混ぜる。
- ④③を2～3回繰り返し、30～40分蒸しあげて餅をつく。
- ⑤ついた餅は片栗粉を敷いたバットにとり、50g位の大きさにちぎる。
- ⑥あんを丸め、⑤の餅を手のひらに広げて中央にのせて包み、こんもりと高くなるように丸めて、高いところに食紅で色をつける。

このコーナーは、食生活改善推進協議会の協力により季節の郷土料理を紹介しています。食生活改善推進協議会では、今年度も定期的に郷土料理教室を開催する予定です。詳しい日程や内容などはお問い合わせください。

◎詳しくは、食生活改善推進協議会事務局（健康課健康推進室）へ。☎内線516

いきいき新庄人

被災地に雇用を！
気仙沼弁当プロジェクト

のらくら
高橋 広一さん
(谷地小屋)

「東日本大震災発生以降、父が代表を務める団体『ネットワーク農縁』の一員として支援活動をしてきました。そこで同じく支援活動に取り組んでいた、青山学院大学の黒石教授と知り合いました。そして、教授が気仙沼で『被災地では働く場所が少ない』という話を聞いたことが発端となり、三陸の海の幸と山形・新庄の米などの農産品を組み合わせた弁当を開発し、それを切り口とした雇用の創出を目指すプロジェクトが始まりました」そう話す高橋さんは『ネットワーク農縁』の若手グループ『のらくら』のメンバーです。

プロジェクトでは、青学の学生たちが仮設住宅を回って、気仙沼の郷土料理の聞き取りと試食を行い、その結果をもとに、高橋さんたち『のらくら』のメンバー5人と知り合いのシェフが、メニューの研究を重ねました。そして先日、試作品がついに完成。気仙沼でよく食べられている『メカジキ』を使った2品を考案しました。1つはカレー弁当、もう1つはみそ照り焼きをメインにした幕の内弁当です。3月半ばに、気仙沼で150食程を振る舞う予定です。

「弁当に対する反応も楽しみです。最終目的は被災地での雇用創出です。気仙沼に弁当工場があり、コンビニを通じて首都圏に出荷するなどということができれば理想ですね。被災地の復興はまだまだこれからで、現地で新たな雇用を生み出そうとする動きもまだ大きくはありません。新庄と気仙沼がつながるような人脈を作りながら、復興に協力していきたいです。『のらくら』は各方面で活躍している素晴らしい人材ばかりが集まっていると自負しています。このメンバーと活動できて良かったといつも思います。プロジェクトも仲間たちとともにぜひ成功させたいです」と意欲を見せていました。

山尾順紀

市長コラム



あれから二年

先日こんな手紙をいただきました。「あれから二年（以下抜粋）この世に生を受けて九十年。今、人の情けをひしひしと感じています。三月十一日二十四分、外にいた私は、自分の家の向かいのお宅に上がり、当たり前のごとくそのお家の炬燵（こたつ）に足を入れ、電気がなくても寒いとは思いませんでした。親類でもなくただ隣組の隣人なのによく面倒を見てくれて、灯油の詰め替えや買い物の不足分を求めてくれたり、またその隣のお父さんも、火曜と金曜のゴミ出しを行ってくれたり、本当に隣人愛に恵まれる幸せな年寄りです。…三月十一日が近づいてきてあのときの泊めていただいた人情を思い出し、近隣の人たちに感謝しながら毎日を過ごしています。亡くなられたり、災害に遭われた家族の方々の一日も早い復興をお祈りし感謝の心を止めます。合掌」

遠い親戚より、近くの他人を絵に描いたような話、まさにこれが地域力だと思えます。災害の時だけでなく、普段からの互いの思いやりがいざというときにいかに大切かを教えてくれる手紙です。新庄人はやっぱり素晴らしい。



地域づくりに 挑戦!

最終回となる今回は、町内会の現状から見えてきた課題や他市の取組事例などから、今後の方向性を考えてみます。

◀山屋地区では昨年度ワークショップを行い、そこで出された課題の解決に向け地域をあげて活動しています。

地域づくり通信

第12号

平成二十一年度に行った「町内会等の活動に関する調査」では、いろいろな悩みを抱える町内会の姿が浮き彫りになりました。最も大きな課題は町内会役員のなり手がいないことで、区長のなり手もおらず、やむなく輪番制にする町内が増えています。また高齢化や町内を構成する世帯数の減少（四十世帯未満の町内数が四十％超）で、世代を超えた活動が難しくなっています。

日本には古くから地域で支えあう仕組みがあり、冠婚葬祭における地域での支え合いなどはまさにその典型といえます。しかし最近では、自分や身近なことを中心に考えることが多く、社会に対しての役割を果たすという気持ちが薄れてきています。

今後ますます進行する人口減少社会のなかで、地域住民が互いに支えあい、協力しあえる自治組織を、市民と市が一緒にあって再構築していく必要があるのではないかと考えています。

地域づくりに先進的な自治体の例をみると、いくつかの共通点があります。

①組織体制

秋田県湯沢市では、学区単位で町内会の上部組織をつくり、さらに合併前の市町村ごとに地域自治組織連絡協議会を組織しています。町内会単独では解決が難しい課題に対しても、より大きい組織であれば解決できることがあり、課題解決を行いやすい組織体制にしています。

②多様な団体からなる組織を構成

宮城県大崎市の三本木まちづくり協議会の例では、「自分たちの住むまちをひとりひとりの少ずつの力と頑張り育てて行きたい」という理念のもと、町内役員のほかに老人クラブ、趣味やスポーツの団体など、百十もの団体の代表が組織に参加しています。

③組織が活動するための資金

金山町では、地区に対して地区交付金を交付しています。金山町の「地区」は単独の町内ではなく、地理的に近い町内の集まりで、使途は各地区に任せています。

昨年度策定したまちづくり総合計画では、市民と行政が一体となって地域課題の解決に取り組む「協働」をまちづくりにおける重要な手法と位置づけています。来年度は、お互いが協働のよきパートナーとして成長できるよう、実践事例を参考にしながらモデル事業を展開していきます。

◎総合政策課地域支援室 ☎内線217

郷土の歴史

ひとくち

新庄市史

⑥0 医療制度の近代化

～西洋医学の普及～

山形県では、旧佐倉藩の医師を県医として招いたり、山形の医師を東京に派遣して種痘の術を学ばせたりしたが、同様の動きは民間にもあった。明治六年末、山形大童在住の医師らが天童に医学義塾を開設して、西洋医学に組織的に取り組んだのを皮切りに、同七年には楯岡に医学社、新庄に医師・古河謙道の申請による医学義塾が開設されたという。ただし、新庄の医学義塾の詳細はわかっていない。

藩政時代、医師の資格についての試験などはなく、師から門弟に与えられる免許によって自由に開業していたが、明治六年、政府は医師について定の資格要件を定め、新たな免許制とした。次いで翌年、「医制」を公布、医師免許取得には医学学校を卒業後二年間の実習を積んだうえ試験に及第して免許を取得、開業できるとした。従来は漢方医が多かったが、明治八年には、医師開業試験科目は西洋医学で行われるようになった。

明治十九年、新庄の仲町（現大手町）に最上郡医学所が建設された。これは、当時郡医を務めていた古河謙道・熊谷元徳・田

今月の本

3月の
おすすめ

『蝸ノ記』

葉室 麟／著



羽根藩の壇野庄三郎は幽閉中の元郡奉行・戸田秋谷の元へ遣わされる。秋谷は不義密通の罪で家譜編纂と10年後の切腹を命じられていた。当時の事件の真相探求を命じられた庄三郎は…。第146回直木賞受賞作。

今月のテーマ展示

『笑顔』

3月は卒園・卒業など、別れや旅立ちの季節です。新年度・新生活に向けて、どんなときも笑顔でいられるように前向きになれる本、HAPPYな気持ちになれる本をたくさん展示しています。

● 児童図書 ●

トモダチックリの守り人

……吉富 多美(新庄市出身)
車いすバスケットを夢を駆ける……京谷 和幸
もえろっ!卓球部……横沢 彰
あいうえおみせ……安野 光雅
もぐらぐらんとみどりのほし……ハナ・ドスコチロヴァー
フルーツタルトさん……さとう めぐみ
トックトック……ブルーノ・ムナーリ

● 一般図書 ●

藤沢周平全集 第26巻……藤沢 周平
あかねさす一新古今恋物語……加藤 千恵
モノの仕組みがまるごとわかる!……青春出版社
幾千の夜、昨日の月……角田 光代
みんな大好き!アンパンマンのフェルトマスコット
……日本ヴォーグ社
みさおとふくまる……伊原美代子
親鸞 激動篇(上巻・下巻)……五木 寛之
お菓子の教科書ビギナーズ これならできそう!
……矢崎美月代

英国メイドマーガレットの回想

……マーガレット・パウエル
人魚はア・カベラで歌ふ……丸谷 オー
介護とブックトーク……梓 加依
孔子さまへの進言……楊 逸
マンガでわかる聴導犬……有馬 もと
平清盛 前編(NHK大河ドラマ・ストーリー)
……NHK出版

花いくさ……鬼塚 忠
世界記憶遺産データブック2012年版……古田 陽久
私の愛した男について……田口 ランディ
東雲ノ空(居眠り聲音江戸双紙)……佐伯 泰英

■開館時間:午前10時～午後6時
■休館日:毎週月曜日
●市立図書館 ☎22-2189



わらすこ 広場

WARASUKO HIROBA

すくすくナビ



花粉症などのアレルギー症状は、「身体の中のアレルギー(アレルギーの原因物質)を溜めるバケツが溢れた時に発症する」と表現されます。このため、アレルギーの数が少ない幼児期にはあまり発症しないと思われていましたが、花粉の飛散量が増加するのに伴い、発症する子どもが増えているそうです。

花粉症による諸症状は集中力を低下させ、イライラの原因にもなります。「花粉症かな?」と思ったら、病院で原因となる花粉を調べてもらい治療の相談をしましょう。

花粉症患者が低年齢化?

花粉を体に入れないために

- 外出時はマスクをしましょう。
- 帰宅時は衣服の花粉をよく払い落とします。
- 花粉が付にくい生地地の洋服もありますので活用しましょう。
- うがいや手洗いも忘れずにしましょう。



県内の花粉症発症の時期

スギ花粉が二月末から四月末(三月下旬がピーク)、イネ科の雑草が五〜六月、キク科の雑草が九〜十月となっています。また花粉以外のハウスダストやダニ、カビ等は季節に関係なく起こります。

これからの予定

第11回
めめめ子育て講座
「体操教室」
3月22日(木)
講師:WEスポーツの先生

3月の遊びの広場と巡回相談

13日(火) 27日(火)	保健センター
15日(木)	本合海 児童センター

◎地域子育て支援センター(わらすこ広場内) ☎22-5115

村宗甫ら郡内の医師が中心となり、郡内有力者の寄附を募って設立されたものである。患者を収容して治療を施すと共に、地域の医業関係者の西洋医学の研究・研修機関として、後には助産婦看護婦の養成機関としての役割も果たし、最上郡の医療の近代化に大きく貢献した。この跡には、関係者の功績を讃える「頌徳碑」が建っている(昭和十三年建立)。

明治政府は、伝染病の予防と撲滅を重視し、中でも痘瘡(天然痘)については種痘を義務付け、国内から駆逐した。また、最も恐れられたコレラは明治に入ってから幾度か大流行し、新庄でも明治十九年に多くの患者が出て、西山にあった西中寺に隔離したという。このころから徐々に避病院が整備された。

こどもふゆのつどい(2月4日／市図書館)



子どもたちに本に親しんでもらいたいと「こどもふゆのつどい」を開催しました。かやのみ会や新庄南高図書委員会、ガールスカウトなどが絵巻絵本や紙芝居を披露。集まった子どもたちは次々と続くお話の世界を楽しみました。

雪の里まつり(2月5日／雪の里情報館)



雪の里情報館で、雪の里まつりを開催しました。玄関前広場での雪中宝探しや、子どもたちによる太鼓演奏などのステージ発表、待ち遠しい春を合唱や朗読などで表現した第62回市民雪セミナーなどさまざまな催しが行われました。

青山学院大学の学生が新庄での活動を報告(2月14日／ゆめりあ)



平成21年から新庄市を訪れエコロジーガーデンを中心に建築物などの調査を行っている青山学院大学黒石研究室の学生が、今年度の活動報告を行いました。調査結果のパネル展示や発表、意見交換などが行われました。



民話の語りを伝承「第6回新庄こども語りまつり」 (2月18日／ふるさと歴史センター)

昭和・萩野・泉田・北辰・本合海の5つの小学校の子どもたちが出演して「新庄こども語りまつり」を開催しました。日頃から新庄民話の会の指導を受けながら練習してきた成果を、子どもたちが披露すると、会場からは大きな拍手が送られました。民話語りは、貴重な伝承文化として語り継がれています。



2012新庄雪まつり前夜祭

(2月10日／ゆめりあ)

第41回を迎える新庄雪まつりを盛り上げようと、新庄・最上をげん気にする会が「2012新庄雪まつり前夜祭」を開催しました。子どもたちの遊戯や、納豆汁のふるまい、雪像・六地蔵への灯入れなどで雪まつりのムードを盛り上げました。

しんじょう
まちがど

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介します

TOPICS

栄光をたたえて

■あじさい感謝

【体育振興部門／一般】ボクシング三浦慶作(新庄アマチュアボクシング協会)

■あじさい奨励

【体育振興部門】個人／【一般】弓道竹内憲(新庄弓道連盟)空手伊藤真太郎、伊藤功貴、佐々木梓(新庄市空手道連盟)【高校生】空手坂上愛、土田秀治(新庄北)、小林未侑(天童)、仙台文子(酒田南)、国分円香(宇都宮文星女子)自転車吉田和志(新庄北)、高橋祐衣(神室産業)ボクシング齋藤拓也、佐藤勇樹(神室産業)陸上高橋円佳(神室産業)、白崎怜子(霞城学園)、青木成美(山形西)、高橋真菜(山形北)相撲後藤大樹(神室産業)柔道高山達郎、長堀竜也(新庄東)スキー三浦友維(新庄北)【中学生】空手国分桃香、井上夕希(新庄)、齋藤蓮(明倫)、叶内史也、伊藤希恵(日新)、笹原渉平(萩野)柔道高橋恭平(明倫)、叶内大誠、新山壮一郎(日新)、福嶋佳愛(萩野)相撲本間貴大、矢口龍(日新)【小学生】空手荒木翔太(新庄)、阿部莉々子(沼田)、佐藤穂果、齋藤沙希(北辰)、星川愛斗(泉田)、元木文(本合海)、早坂紫苑(新庄市空手道スポーツ少年団)卓球伊藤みちる(泉田)団体／【一般】弓道新庄弓道連盟県障がい者スポーツ大会市身体障害者福祉協会【高校生】スキー新庄北高スキー部女子【中学生】空手新庄中学校空手道部女子、日新中学校空手道部男子、明倫中学校空手道部男子相撲新庄中学校相撲部【小学生】サッカー新庄バリエンテFCスポーツ少年団野球日新レッドスターズスポーツ少年団空手新庄市空手道スポーツ少年団男子、新庄市空手道スポーツ少年団女子

【教育・文化部門】個人／スピーチ本澤あすか(沼田小)絵画阿部莉々子(沼田小)ボクスター高橋美来(沼田小)読書感想文浅沼奏汰、金田理沙(日新小)、川又愛(泉田小)書道奥山直(萩野中)作文丸山裕菜(日新中)短歌笹木康介(萩野中)スピーチ門脇真実(日新中)スピーチ、重唱真木碧性(新庄中)重唱佐藤奏子(新庄中)学校農業クラブ全国大会高橋円佳(神室産業)県学校農業クラブ情報処理競技会井上也実(神室産業高)囲碁佐藤達輝(羽黒高)団体／合唱沼田小学校合唱部、日新小学校合唱部読み聞かせボランティア大賞新庄南高図書委員会県高等学校サーベイコンテスト神室産業高環境デザイン科土木系全国高等学校ロボット競技大会神室産業高機械技術部

■財団法人新庄市体育協会体育表彰

功労賞 中野純一(新庄地区野球連盟)、大竹洋一(新庄地区ソフトボール協会)

殊勲賞 個人／【一般】弓道竹内憲(新庄弓道連盟)【高校生】自転車吉田和志(新庄北)、高橋祐衣(神室産業)空手坂上愛、土田秀治(新庄北)スキー三浦友維(新庄北)ボクシング齋藤拓也、佐藤勇樹(神室産業)相撲後藤大樹(神室産業)陸上高橋円佳(神室産業)、白崎怜子(霞城学園)柔道高山達郎、長堀竜也(新庄東)【中学生】空手国分桃香、井上夕希(新庄)、齋藤蓮(明倫)、伊藤希恵(日新)相撲本間貴大(日新)柔道高橋恭平(明倫)、叶内大誠、新山壮一郎(日新)団体／【高校生】スキー新庄北高スキー部女子【中学生】空手新庄中学校空手道部女子、日新中学校空手道部、明倫中学校空手道部男子相撲新庄中学校相撲部

奨励賞 個人／【小学生】空手荒木翔太(新庄)、齋藤沙希(北辰)、早坂紫苑(新庄市空手道スポーツ少年団)団体／【小学生】空手新庄市空手道スポーツ少年団男子、新庄市空手道スポーツ少年団女子サッカー新庄バリエンテFCスポーツ少年団野球日新レッドスターズスポーツ少年団

TOPICS まちかど



■満100歳のお祝いに佐々木キミ子さん(泉田)に賀詞と記念品を贈呈(2月17日)



■市に善意の寄贈

(2月16日／市図書館)

新庄ロータリークラブ(佐藤浩治会長)から、子どもの読書活動に役立ててほしいと大型絵本を収納できる本棚を寄贈いただきました。早速、市図書館に設置し活用させていただきます。



■東北観光博開催に向けシンポジウムで意見交換

(2月22日／ゆめりあ)

最上地域の観光振興に向けた取り組みなどについて、意見交換を行うシンポジウムが開催されました。東北観光推進機構・阿部昌孝副本部長による「現在の東北地方の観光事情について」と題した講演の後、地域の観光に関する課題について意見が交わされました。



1 財市体育協会体育表彰式兼あじさい奨励(体育振興部門)表彰式

(2月11日／ゆめりあ)

2 あじさい奨励(教育・文化部門)表彰式

(2月14日／市役所)

3月の

おしらせ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

市役所窓口の時間外開設

○期間 3月29日(木)～4月4日(水)

○窓口延長時間

3月29日(木)・30日(金)	午後6時30分まで
3月31日(土)・4月1日(日)	午前9時から 午後1時まで
4月2日(月)～4日(水)	午後7時まで

○取扱業務(次の業務に限り対応します)

担当課	取 扱 業 務
市 民 課	転入・転出・転居届
福祉事務所	子ども手当の手続き(子ども手当を受給している人が転入・転出する場合)
健 康 課	子育て支援医療証の交付手続き(未就学児と一緒に転入した場合)
上下水道課	水道の開栓・閉栓

※上下水道課の業務は上下水道庁舎で行います

◆◆◆ご注意ください!◆◆◆

○住民の異動にかかわる届出は、運転免許証などで本人を確認させていただきます。

○各種届出を本人と同一世帯以外の人が行う場合は、委任状が必要になる場合もあります。

○住民の異動にかかわる届出にともない、他部署での手続きが必要になる場合もあります。上記「取扱業務」以外は、後日あらためて来庁いただくことになります。事務取扱時間などを事前に確認してください。

○詳しくは、市民課住民戸籍室 ☎内線122、上下水道課 ☎23-6111へ。

県立農業大学校 研修生募集

新規就農、新たな作物導入、加工直売等について実践的に学ぶ研修です。

▼募集コース 新規就農支援研修、農業ビジネス支援研修

▼研修期間 平成24年4月～翌年3月

▼募集人員 新規就農希望者50人、新たな事業展開・加工を目指す農業者30人

▼受講料 無料

▼申し込み 3月23日(金)まで

◎県立農業大学校研修部

☎22-8794

新庄コンピュータ専門学校 願書受付中

平成24年度生の願書受付中です。

▼出願資格 高卒または同等以上の学力を有する者

▼設置学科(定員)

①情報システム科(40人)

②ビジネスIT科(20人)

③医療ビジネス科(20人)

▼願書受け付け 3月26日(月)まで

◎新庄コンピュータ専門学校

☎29-2121

新庄もがみライオンズ クラブ献血事業

▼とき 3月30日(金)午前9時～午後3時30分 ▼ところ ゆめりあ花と緑の交流広場

◎健康課健康推進室

☎内線515

屋外施設の 使用受付について

▼対象施設 福田運動広場、福田テニスコート、横根山運動広場、東山テニスコート、陸上競技場、相撲場 ▼とき 3月19日(月)午前8時30分から先着順で受け付けします。

▼ところ 市体育館

◎市施設振興公社(市体育館内) ☎22-0681

連合山形新庄最上地域協議会 なんでも労働相談ダイヤル

▼とき 3月27日(火)～28日(水) 午前10時～午後6時 ▼内容 電話による労働に関する無料相談 ▼相談電話 23-1515

国家公務員採用試験の お知らせ

- ① インターネット受付期間
- ② 郵送や持参による受付期間
- ③ 第1次試験日
- 【総合職試験(院卒・大卒程度)】
- ① 4月2日(月)～9日(月)
- ② 4月2日(月)～3日(火)
- ③ 4月29日(日)
- 【一般職試験(大卒程度)】
- ① 4月10日(火)～19日(木)

協会けんぽの保険料率が変わります

平成24年4月納付分(3月分保険料)から、9.96%(現行9.45%)となります。また、介護保険料率も現行の1.51%から1.55%となるため、40歳から64歳までの介護保険該当者の健康保険料率は、合わせて11.51%となります。加入者の健康や生活を支えるためのご負担につきまして、ご理解いただきますようお願いいたします。

◎詳しくは、全国健康保険協会山形支部へ。 ☎023-629-7226

- ② 4月10日(火)～11日(水)
 - ③ 6月17日(日)
- ※詳細はホームページに掲載しています。

◎人事院東北事務局

☎022-2221-2022

国税専門官・労働基準監督官 採用試験のお知らせ

▼受験資格 昭和57年4月2日～平成3年4月1日生まれの人、平成3年4月2日以降生まれで、大卒または平成25年3月までに卒業見込みの人や同等の資格があると認められる人

▼受付期間【インターネット】

4月2日(月)～4月12日(木)【郵送・持参】4月2日(月)～3日(火)

※詳細はホームページに掲載しています。

◎国税専門官仙台国税局人事第1課

☎022-2631-1111

労働基準監督官山形労働局

☎023-6224-82221

4月5日開講

無料体験レッスン実施中!

対象 ぷっぴる

①音楽教室

②英語教室

1才	お問い合わせ下さい	3/18(日) 10:00
2才	3/25(日) 10:00	3/18(日) 11:00
3才	3/25(日) 11:30	3/18(日) 13:00
4・5才	3/25(日) 10:00	3/18(日) 14:00
新1・2年生	3/25(日) 11:30	3/25(日) 13:00
新3・4年生		3/25(日) 14:00
新5・6年生		3/25(日) 15:00

お申し込み・お問い合わせは、Tazawa 音楽センターへ ☎22-2757

— 介護認定された方、障がい者の方限定の移送サービス —

介護100円タクシー

http://www.kaisei-company.com/ (予約制) ご不明な点は、お気軽にお電話下さい。

■介護保険内 30分以内 運賃100円

※介護保険利用者の方は、介護保険の自己負担が発生します。

■介護保険外(障がい者の方1割引) 15分以内 運賃1,560円

TEL 0233-29-2912



催しなど

市民プラザからのお知らせ

第2回 キッズ★フェスタ開催

- とき 3月24日(出)午前10時～正午
- ところ 市民プラザ大ホールなど
- 内容 キッズ・フリーマーケット(出店者募集中)、キッズカフェ、ヨーヨーパフォーマンショー/マジックショー、だがしや楽校など
- 入場料 無料

ふれあい市民ギャラリー「アートの息吹展」

- 新庄・最上にゆかりのある洋画・日本画・彫刻・陶芸などの作家20人の展示会。幅広い世代の作品をぜひご覧ください。
- とき 3月25日(日)～4月1日(日)午前9時～午後7時(最終日のみ午後5時まで)
 - ところ 市民プラザ2階ギャラリー
 - 入場料 無料

3月の月金

- とき 3月25日(日)午前10時～午後3時
 - ところ 市民プラザ茶室「風流庵」
 - 茶券 500円
- ※裏千家・新庄茶道連盟・田宮宗知社中
◎詳しくは、市民プラザへ。 ☎22-4200

「きずな」写真展作品展示

- 家庭や地域でのふれあいなど、「きずな」をテーマとした写真を展示します。
- とき 3月25日(日)まで
 - ところ 市民プラザ1階ロビー
- ◎詳しくは、市青少年育成会議事務局(生涯学習課)へ。 ☎29-2345

産直まゆの郷 旧節句祭開催

- とき 3月25日(日)午前9時～午後6時
 - ところ 産直まゆの郷
 - 内容 旬野菜、花、農産物の販売。先着200人に花の苗プレゼント。焼きおにぎり屋台もあります。
- ◎詳しくは、産直まゆの郷へ。 ☎23-5007

フランス料理教室参加者募集

- とき 3月24日(出)午後4時～
 - ところ 市民プラザ調理室
 - 講師 笹美知子さん
 - 材料費 2,500円
 - 申し込み 3月22日(木)まで
- ◎詳しくは、事務局・笹へ。 ☎22-2086

人間国宝・奥山峰石寄贈作品展

○3月31日(出)まで

○ふるさと歴史センター

※金工作品16点の展示。入館料300円。

◎ふるさと歴史センター ☎22-2188

固定資産に関する情報を開示します

土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧

市内の土地・家屋の評価額が記載されています。なお、プライバシー保護のため、所有者の住所、氏名や課税標準額は記載していません。

▼対象 市内に土地や家屋を有する納税者 ▼とき 4月2日(月)～5月31日(木)午前9時～午後4時(平日のみ) ▼手数料 無料 ※免許証や保険証など身分を証明できるものが必要です。

固定資産課税台帳の閲覧

市内の土地・家屋・償却資産の情報を、その所有者ごとに確認できます。

▼対象 固定資産の所有者や納税義務者。固定資産の借地・借家人なども使用・収益部分を閲覧できます。

▼とき 通年(平日のみ)

▼手数料 1部400円

※所有者・納税義務者以外の方が閲覧する場合は代理人選任届が必要です。

◎いずれの閲覧場所も税務課資産税室(本庁舎1階西)

☎内線144・145

ご存知ですか「特別障害者手当」・「障害児福祉手当」

特別障害者手当

最重度の障がいがあるため日常生活で常時特別の介護を必要とする人で、20歳以上の人に支給します。

▼要件 本人及び扶養義務者の収入が一定以下の人。施設に入所していない。3か月以上継続して入院していない。受給に足る症状にあること。

▼支給額 月額26,260円

▼提出書類など 指定様式の診断書、印鑑、受給する人の通帳、年金などを受け取っている場合

はその金額が分かるもの。

障害児福祉手当

重度の障がいがあるため日常生活で常に介護が必要な人で、20歳未満の人に支給します。

▼要件 本人及び扶養義務者の収入が一定以下の人。施設に入所していない。受給に足る症状にあること。

▼支給額 月額14,280円

▼提出書類など 指定様式の診断書、印鑑、受給する人の通帳

◎福祉事務所高齢障害支援室 ☎内線548

国民年金保険料の納め忘れはありませんか？

国民年金保険料の未納期間があると、満額の老齢基礎年金が受けられないだけでなく、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合もあります。将来年金を受け取るために保険料をきちんと納めまし

平成24年度勇気塾(若者園芸実践塾)塾生募集

よう。納付には口座振替や割引のある前納の御利用をおすすめします。また、納付が困難なときはそのままにせず、免除申請等について御相談ください。

◎新庄年金事務所 ☎22-2050

▼募集要件 次の全てを満たす人 ①本市民で農業を志す18歳～40歳の人 ②施設園芸を目指す農業後継者または新規就農者で卒業後園芸ハウス建設用地を確保できる人 ③農業経営主の同意があり、施設園芸に対する家族の協力が得られる人

▼研修期間 4月1日～翌年3月31日

▼塾生への支援 年間50万円の研修支援金とハウス設置支援金70万円の支給予定

◎農林課農林振興室 ☎内線261

アートフラワーショップ「エミリオロバ」 3月2日(金)オープン!



EMILIO ROBBA L'ATELIER

こらっせ新庄

新庄市本町4-33こらっせ新庄1階
☎29-3868 (CREA/Comete)



佐吉爺の

さきじい

子ども遊び
あれこれ

自然豊かなふるさと新庄。昔の子どもたちはこの自然を活かし、さまざまな遊びを見出し、日が暮れるまで野山を駆け回って遊んだ。現代ではなかなか見られなくなった、爺の子ども時代の遊びを季節に合わせて紹介します。 文：伊藤佐吉さん（仁田山）

へ別れゆく教師の顔と 子も涙

今年辰の年、旧暦では三月大小閏年に、当年旧三月二度あるから少々春が遅れる。三月弥生月となると、晴れ時にはお日様も暖かい顔を出す季節となる。暦は三月三日、都会ではおひなまつり。新庄は歌にもある「故郷雪だと返す文」である。

朝晩が冷えて、子どもたちの堅雪渡りの季節である。子どもの頃は寒さに負けず、にぎやかに通学だった。三月二十三日は卒業式、四月四日が入学式で十日間も学校が休みとなり大いに遊んだ。表の小山でスキーのりやそりこのり。足が冷たくなると、靴の中に履いているワラを取り換えた。温かかった。今のように靴下や足袋も、はける時代ではなかった。

「穴いつき」の遊びもした。雪を踏み固め平らにし、少々傾斜をつける。途中に小さなお金が入る穴を作る。一銭銅貨を一人二枚出し、三メートルくらい離れたところから四、五人で順番に



▲幼稚園でのひなまつりの様子。自作のひな人形を手に記念撮影する子どもたち。(昭和59年頃・伊藤佐吉さん撮影)

投げる。坂になつていので穴を通り越した銅貨が滑り落ちて穴に入ったりもする。最初の人は全員分の銅貨を投げられる。穴に入った分が自分のものになり、次の人は外れた銅貨を集めて投げる。これを繰り返して、銅貨が無くなるまで男女仲良く投げて遊んだ。

外が白くなると、子どもはコタツとワラ敷布団が欲しくなる。父さんに早く作つてと言っても、おばあちゃんに一番早く、少し大きなワラ布団を作るので、おばあちゃんのワラ布団に一緒に寝た。昔ばなしを聞きながら、とても温かかった。三月になると古ワラをとり、また新しいワラに入れ替えると温かくなった。

大寒に入ると、空気が殺菌され菌も無くなるという、凍み大根、いぶす大根漬、寒さらす粉、乾し餅などさまざまな保存食を作った。乾し餅は四月ごろまで小屋などに入れて自然に乾した。ウグイスが鳴く声を聞くと食べられると言われたが、子どものころは食べたくて、半生をこすりおやつにして食べた。家の人に見つかること「またどつたな」と叫ばれたものだ。昔の人たちは天気天候に順応した生活であった。

爺たちが子どものころは、旧三月三日がひなまつりで、女の子の着飾るまつり。晴れ着を着て家々を回り、「おひな見に来ました」と言つて入っていた。「よぐ来たな」と言われ、甘酒やお菓子を頂いたものだ。

へ弥生月忘れず降るか 彼岸雪

表紙の写真

届け!提灯に乗せた復興の祈り ―第41回新庄雪まつり―

今年で41回目となる新庄雪まつりが、2月11日(土)・12日(日)の両日、最上公園一帯を会場に行われました。雪上運動会や食楽市場などさまざまな催しがある中、今年は初めて市内の中学生や高校生が制作した巨大提灯を飛ばしました。夜空に明るく浮かび上がる提灯には、イラストや東日本大震災の復興の祈りを込めたメッセージなどが書かれ、被災地に気持ちが届くようにと高く打ち上げられました。



1月末現在の新庄人

	38,605人 (39,022人)
女	20,150人 (20,356人)
男	18,455人 (18,666人)
世帯数	13,487世帯 (13,463世帯)

1月の異動

出生	27人 (24人)
死亡	40人 (40人)
転入	48人 (47人)
転出	58人 (46人)

※()は1年前の住民基本台帳



環境にやさしい植物油インキを使用しています